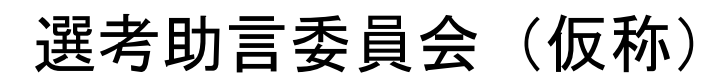


新たな日本学術会議



- 学術会議が会員選考の方針等を検討する際に意見を述べ、
 - ・学術の進歩と社会の変化の会員構成への自律的な反映
 - ・選考方法の客観性・透明性の向上に資する。
- 外部の知見の活用は、very bestな会員の選考はもとより、会員が仲間内だけで選ばれる組織であると思われないためにも重要であり、国民との約束として法定し制度化。

【委員】

○会長が任命

※内外のアカデミー、国研、産業界（P）など会員を構成する主要な研究者グループを中心に選考

【所掌事務】

○学術会議が会員選考に関する方針、選考基準、選考する会員数、専門・分野別の配分、外部からの推薦手続き、投票の方法等の案を作成するに当たり、意見を述べる。

- ※海外アカデミーはいずれも投票制を導入しているが、その態様は多様であり、この図は一つのイメージ